

第77回日本循環器学会学術集会
Fireside Seminar15 (FS-15)



BNP測定の特徴と値の見方

座長 吉村 道博 先生 東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科

J-ABS研究から見たBNP値

演者 川井 真 先生 東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科

BNP関連ペプチドの最新知見

演者 錦見 俊雄 先生 京都大学 内科学講座 内分泌代謝内科

日時 2013年3月15日(金) 18:20~19:20

会場 第16会場 パシフィコ横浜 会議センター 5F 501
横浜市西区みなとみらい1-1-1

- ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナーへの参加にはセミナーチケット（無料）が必要です。
- 第77回学術集会ホームページにてプレレジストレーションを行います。（2月28日締切。締切後は変更不可）プレレジストレーションをお済ませの場合、ランチョン・ファイアサイドセミナーのチケットは、参加証兼領収証（ネームカード）と同時に発行されます。
- 開催日当日も下記受付にてチケットの発行を行います。数に限りがございますのでご了承ください。
- チケットはセミナー開始と同時に無効となりますのでご注意ください。
[受付場所] 当日受付：パシフィコ横浜 展示ホール A
[受付時間] 第1日目（3月15日・金）ファイアサイドセミナー 7:00~17:50

共催 第77回日本循環器学会学術集会／塩野義製薬株式会社／東ソー株式会社／協和メデックス株式会社／三菱化学メディエンス株式会社／アボットジャパン株式会社／積水メディカル株式会社／富士レビオ株式会社

BNP測定の特徴と値の見方

BNP

座長のことば

東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科 吉村 道博 先生

ANP、BNPに関しては、生理機能や血中濃度測定の意義が次々と明らかになり、ANPは急性心不全の薬剤として、BNPは心不全の検査法として重症度診断・早期診断・治療効果判定・予後判定に広く使われており、その貢献度は計り知れない。

しかし一方で、BNPの値は時にばらつくという誤解があり、さらには、どの値をカットオフにするのかなどの戸惑いがあるのも事実である。BNPは極めて鋭敏なホルモンであり、それぞれの値には深い意味があり、今後、その読み方を整理する必要がある。また、カットオフ値に関しては、専門家の間でも議論の多いところであるが、必ずしも循環器を専門としていない医師などにとっては、ある程度の目安は必要であろう。これに関して、今回、J-ABS研究が発表され、一つの提案がなされた。BNP値に変動を及ぼす因子の問題も含めて川井先生からお話を伺う予定である。また、近年、再燃しているBNPの分子生物学的研究の成果を錦見先生から教えて頂くことを楽しみにしている。

J-ABS研究から見たBNP値

東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科 川井 真 先生

BNPは慢性心不全患者の診断・治療においては欠かせない指標である。同時にリアルタイムの心臓の状態を示すというBNPの特性から、プライマリーな時期の臨床に役立つことも明確となってきている。心臓に高い特異性を有するために適確な情報が血液検査で早期に得られる意義は計り知れない。さらに、測定方法の進歩から短時間で患者さんのその時の検査結果を得ることが可能となり、治療方法や精密検査を考えるうえで重要な情報を患者さんと共有することができるようになった。

それ故に分かりやすく明確な目安の作成が急務であったが、今ある基準値に加えて実臨床に役立つ心臓の異常を見つけ出すためのBNP値の目安を、新たに多施設共同研究として東京慈恵会医科大学と同柏病院、京都大学、藤田保健衛生大学、熊本機能病院の循環器外来患者のデータをもとに検討した。本セミナーではこのJ-ABS研究の背景や経緯とともにBNP値の目安の活用方法を解説する。

BNP関連ペプチドの最新知見

京都大学 内科学講座 内分泌代謝内科 錦見 俊雄 先生

BNPやANPの血中濃度の測定は循環器疾患を扱う日常臨床で不可欠なものになっている。特にBNPは心不全の臨床や救急医療において世界規模で普及しており、世界中のガイドラインでも推奨され、その意義は揺らぎないものになっている。

BNPはそれ自体とともにその前駆体 proBNPが血中に多く存在すること、および proBNPに糖鎖が付着する事も最近明らかとなり、その意義が注目されているが、疾患における動態や意義はいまだ不明である。我々はBNP、proBNPの測定系を開発し、心疾患患者や健常者の動態を解明しつつある。また proBNPが増加する分子機序についても、糖鎖の付着を含めて、種々の分子生物学的なアプローチを用いて検討し、いくつかの新知見を得た。

本セミナーでは最新のBNPの分子型の知見をレビューするとともに、我々のデータも交えて糖鎖の付着した前駆体 proBNPの意味やBNPのさらなる可能性についてお話したい。